

# P i c ア ッ プ ち り ゆ う



市内中学校でALT（英語助手）をしているオーストラリア出身のデイビット・ハントさんを講師に迎え、アンザック・ビスケットを作りました。

オーストラリアでは、2010年の法改正により父親も育児休業がとりやすくなったこと、子どもは18歳で自立させることなどを紹介していただきました。

ハントさんの興味深いお話と美味しいビスケットに、参加者同士の会話も弾み、楽しく男女共同参画を学ぶことができました。

男女ペアでお料理 楽しく学ぼう男女共同参画  
7月5日 中央公民館



国際交流協会 ゆかたパーティー  
7月13日 中央公民館

韓国やブラジル、ドイツなど様々な国の皆さんが参加して、市民の人たちから寄付していただいた浴衣に身を包み、日本の伝統的な遊びや盆踊り、ゆかたファッションショー、そうめんの会食などを通して交流を深めました。

思い思いにポーズをきめるファッションショーでは、サンバのステップが飛び出す場面も！

参加者の皆さん、日本の夏の思い出の1ページになりましたね！

— 子育て環境日本一を目指して —

## でも だち であい・ふれあい・知立いっぱい

魅力ある学校づくり

### きめ細かな学習支援のために ～知立東小学校～

「今は、ここを読むよ」大学生のお姉さんがそばで、教科書の文字を指差します。順番に音読しているうちに、読む場所が分からなくなってしまった外国人児童に寄り添い、支援しているのです。児童は、「それを聞くと つぼみさんは…」と、大きな声で文を読み始めました。



【寄り添う支援員】

本校では、「日本語指導学習サポート支援員」として、将来、教職関係への就職を希望する愛知教育大学の学生を募集し、日本語指導が特に必要な児童やきめ細かな支援が必要な外国人児童の支援をしています。担当学年を決め、継続的な支援が行えるように工夫しています。

現在5人の学生が、週に1日（4時間）、曜日を決めて勤務しています。

教員からは、「支援員が日本語の十分でない児童と友達の間に入って、良好な関係が築けるように声をかけてくれたので、トラブルが減った。」「学習内容が分からず、席を立ったり私語をしったりする児童に声をかけてくれたので、落ち着いた雰囲気の中で授業ができた。」というような声が聞かれます。



【一緒にゲームをする支援員】

放課には、児童とともに運動場で駆け回って遊んでくれる支援員たちを、児童も教員もとても頼もしく感じています。